









まとめ

1. 過去10年間に注意報を発令した40日間の光化学オキシダントの分布は8パターンに分類できた。
2. このうち甲賀地域には、固定発生源を監視する沿道測定局があり、一般測定局が無いことから過去に注意報を発令した経緯は無いが、シミュレーションの結果では値が高くなることから、一般地域での測定が必要であることが示唆された。
3. また、県内には半数近くの空白地域が存在するが、甲賀地域と同様、注意報発令レベルを超過することが示され、検討を要する。